

# “コベキャン”の愛称でおなじみ、学習塾

# 個別指導キャンパス 福盛 訓之 社長

## 関西 熱いぞ

「子どもたちの学力が伸びることと、社員の働きやすさは直結すること、社員の役割は、多くの人を幸せにすること」との理想を掲げる。



# 子どもたちの学力が伸びることと、社員の働きやすさは直結する 教育の究極の役割は、多くの人を幸せにすること

近畿中心に約300校

1993年、19歳で3人の中学生を相手に学習塾を始めてから27年。現在は近畿を中心に約300校を運営する。能力も個性も違う子どもたち一人ひとりに合わせた「オーダーメイド教育」のプログラムを確立させ、独自教材の作成などの講師でも同じレベルの授業が展開できるシステムを作り上げた。

その上で「ほめる」ところはしっかりとほめて、生徒のやる気を引き出す「人間味のある対応にも力を注ぐ」。

「例えば、遅刻ばかりする子どもに『昨日は30分遅刻したけど、今日は5分の遅刻や。えらいぞ』と。自分が講師をしていた頃から小さな進歩を見つけては褒めて、お互いの信頼関係を築いていきました」。

### 能力も個性も違う子どもたち一人ひとりに合わせた「オーダーメイド教育」プログラム確立

### 「ほめる」ところはしっかりとほめて、生徒のやる気を引き出す「人間味のある対応にも力

「同校では「成績が上がらなければ授業料免除」という成績保証制度を設けている。自信があるからこそその制度だが、何と今まで該当者はゼロだという」。

一方で「どの子にも勉強する権利がある」との思いから、教室を簡素な内装にするなど教育に関係のない部分にはお金をかけず、低価格を実現している。

実績を積み重ね、増収・増益の業績を続けているが、辛酸をなめた時期もあった。無名の個人の学習塾だった頃は、優秀な人材の確保が困難を極めた。創業3年目には生徒数200人、右肩上がりの成長を続けていたが、信頼していた社員の横領事件が起きる。別の社員は生徒を引き連れ、自分の塾を始めるといふ「裏切り」も経験した。「それから経営について真剣に考えました。経営者の本

全国最年少市長・東四条畷市長は教子(プロフィール) 1973年、大阪府出身。趣味は旅行、宝塚歌劇鑑賞など。奈良テレビ「ふくもり・としゆき」「いい福みつけ旅」(水曜後11・58)のレギュラーを務める。全国最年少市長の東修平四(条畷市長(31)は塾の「教子」。



### 「どの子にも可能性

またまた学舎を増やす目標を掲げながら「世の中はエリートだけでできているのではない。どの子も可能性がある。東大や京大を目指して国や企業のリーダーになる子もいれば、そつでない道を行くのもいい。どちらも多くの人を幸せにすることに能力を生かしてほしい」と、優しいまなざしで締めくくった。